

小さな 4・5月合併号

しんせつ

「小さな親切」運動生駒支部情報・第59巻第672号

令和8年4月1日  
 「小さな親切」運動  
 生駒支部  
 生駒市北新町11番3号  
 南都銀行生駒支店内  
 ☎0742-81-3975  
 ☎630-0245  
 定価 100円

この人のことば

真心のこもった看取りに感謝

鹿ノ台放課後子ども教室「にじ」代表 伊藤 智子

89歳の父が3カ月半の入院生活の末、亡くなった。入院前は、自宅で穏やかに過ごしていた。四六時中一緒だった母には、人知れず苦勞もあっただろう。娘の私は、母を車に乗せて父の入院先に通っていただけで、大変なことは何もなかった。

しかし、手がかからなかったのは私にとっての話で、父の最期の日までの数か月は、さまざまな方のお世話になった。特に、お医者さん、看護師さん、リハビリの先生、そして葬儀社の方には、驚くほど心のこもった対応をして頂いた。

病院では寝たきりとなり、食べることも声を出すこともできなくなったが、それでも父はよく笑っていた。手厚い身体介助とリハビリのお陰で、亡くなる前々日まで体が痛くなることも、床擦れもなかった。亡くなる前日まで、持ち込んだCDプレイヤーから大好きなモーツアルトを聞かせてもらっていた。

関係者の方々は、精神的にも肉体的にも決して楽とは言えない職場にあって、真心のこもった仕事をされている。本当に頭の下がる思いだ。気付けば私も、頂いた真心をいつか誰かにお返して、真心の輪をつなげていけたら良いなと思うようになっていた。

「小さな親切」10か条の⑩ 生駒のことをよく勉強しましょう。

この人の作品



切り絵 「東大寺音声菩薩」  
 和田年泰 (高山町)

## 入会のおさそい

あなたも どうぞ ごいっしょに!

「小さな親切」運動で  
手をつなぎましょう

- 人は「おはよう」のたったひとことで心が通じ合い、さわやかな一日を予感します。
- 人の誰もが持っているやさしい気持ちは、使えば使うほど、人から人へとふえるから不思議です。それはお互いが「人間」だからではないでしょうか。
- 人が社会生活をしてゆく上で、欠くことのできない心—それを私たちは「小さな親切」と呼んでいます。いちばん身近な親切なのです。
- 親切をした人と、親切を受けた人との心が触れ合う音は、もし聞こえたとすれば、それはどんなみごとな音楽よりも快くひびくことでしょう。
- 私たち「小さな親切」の会がモットーとしている10カ条のひとつひとつは、いつも私たち、あなたが

たが実行している事がらばかり。でも、ひとりひとりが実践するより、大勢が力を合わせた方が、より大きな社会的効果を生みます。ささやかな1本のローソクの光も、たくさん集まればみごとな輝きのハーモニーになるように…。今のようない時代なればこそ、もっとローソクの火を大きくしなければならぬと思うのです。

「小さな親切」運動は、昭和38年に当時の東大総長茅誠司先生らの提唱で生まれ、生駒市では昭和42年に生駒「小さな親切」の会として発足しました。いかなる政治、宗教、思想にも関わらないおらかな団体です。あなたも、ぜひ誘いあってご参加ください。

### 「小さな親切」の意味

- ささやかな自分の義務をはたすのも小さな親切です。
- 人の親切をすなおに受けるのも小さな親切です。
- できる親切はみんなですということ。

- 小さな親切が社会の習慣となるように努めることです。

「小さな親切」運動生駒支部へ  
入会しましょう

1. 事業のあらまし ◇毎月情報「しんせつ」の発行 ◇月例会 ◇生駒青少年作文コンクール ◇清掃奉仕（毎月第1日曜日は「美化日」、ほか随時） ◇古切手の収集 ◇実行章の推薦
2. 会費
  - ① 普通会員 年 500円
  - ② 維持会員 年 1,000円
  - ③ 賛助会員 年 2,000円
  - ④ 特別会員 年 3,000円以上
  - ⑤ 団体会員 1団体 年 10,000円以上
3. 入会資格 制限なし
4. 申し込み先
  - ① 〒630-0245 生駒市北新町11番3号 南都銀行生駒支店内「小さな親切」運動生駒支部事務局 (TEL. 0742-81-3975)
  - ② グループのリーダーおよび



Nice days, Together!

# 大和信用金庫 生駒支店

生駒市東松ヶ丘16番8号 TEL: 0743-74-1212

小さな親切 協力事業所

- 常任委員  
5. 電話連絡先  
宮本 (TEL. 0743-73-4665)

**令和7年度  
「小さな親切」運動  
奈良県本部実行委員会  
開催報告**

3月24日(火)、奈良県本部実行委員会が南都銀行研修センターにて開催され、当支部より玉置代表・宮本副代表が出席。

久保義隆県本部事務局長の司会にて、役員の紹介の後、県本部分代表・南都銀行頭取石田諭氏のご挨拶に続き、定款に基づき代表が議長となり、議事が進められた。  
議題1. 令和7年度事業報告

- 1) 会員増強運動  
令和8年1月末現在、会員数7,206

名 正会員(個人1・法人2社)、  
一般会員(地方賛助会員260・個人6・団体6,937(団体数26))

2) 実行章の推薦  
推薦者数累計 令和8年2月末現在 個人3,161名、303団体29,998名 累計33,159名  
本年度 個人99名、1団体49名の増加

3) 作文・ポスターコンクール  
作文 小学校18校 42編  
中学校10校 414編  
ポスター 小学校35校 363作品  
中学校10校 61作品  
高校 5校 41作品  
(最優秀賞11点 優秀賞21点 入選53点)

全国第50回作文コンクール  
応募総数26,847編(小学生6,494・中学生20,353)

奈良県から  
優秀賞 橿原市立畝傍南小  
3年 坂本灯南偉さん

入選 生駒市立鹿ノ台小  
5年 山崎 臣さん

生駒市立上中

1年 三木 真実さん

4) 日本列島クリーン大作戦  
令和7年10月26日(日) 16会場にて実施 参加者申込時点で約7000人と(個人・各種団体・企業の参加にて)  
近年の猛暑を考慮し前回より実施日を9月から10月に変更して実施

5) 花いっぱい運動  
コスモス・ミニヒマワリの種子合計6,000袋を支部・各種団体・各企業に配布  
地域の方々の協力にて花いっぱい運動を展開

6) 献血運動  
令和7年9月11日 南都銀行事務センターにて15名参加実施  
同場所にて3月下旬実施予定

7) 使用済み切手の寄贈運動  
令和8年2月末現在 20件 27.6kgの協力があり、日本国際ボランティアセンターへ送付(医薬品・医療器具・救活活動等に役

地元とともに



**奈良信用金庫**

**生駒支店**

生駒市谷田町 843-5 TEL: 0743-74-1011

小さな親切 協力事業所

立てられる)

- 8) 第41回「小さな親切」ハガキ  
キャンペーン  
令和7年度全国応募総数 2,109  
編(入賞・入選者25名)  
奈良県からの応募7編(入賞・  
入選者なし)

議題2. 令和8年度の事業計画(案)

[運動方針] 日本の美風の「蘇生」  
と「新生」

[重点目標] 会員拡大で仲間をふや  
そう

[スローガン] できる親切はみんな  
でしよう、それが社会の習慣とな  
るように

1) 会員増強運動

「会員拡大、仲間づくり」をかか  
げ会員増強を図る

2) 「小さな親切」実行章の推薦

警察組織・各種団体・学校へ実  
行章の推薦を依頼する  
新聞等からも対象先を選定する  
作文コンクール応募者の中から  
親切な行動を実践した人を選ぶ  
各種表彰の推薦は奈良県本部を

通じ、取りまとめの上東京本部  
へ報告する

3) <作文コンクール>

6月下旬に応募要項を発送

締め切り 9月10日予定

本部第51回作文コンクールに参加

テーマ:「小さな親切」

特別テーマ:「わたしの家の親切」

<ポスターコンクール>

テーマ:「小さな親切」

4) 日本列島クリーン大作戦

「クリーンアップならキャンペ  
ーン月間」11月に合わせ 予定11

月8日(日) 県下16コースにて

スローガン「美しい日本 美し  
い心」

5) 花いっぱい運動

コスモスとミニヒマワリの花で

「花いっぱい運動」取り組む

6) 献血運動

血液不足になる3~4月及び9

~10月頃に展開予定

7) 使用済切手の寄贈運動

各種団体に呼びかけ、回収の増  
加を図り、海外の医療活動等に

役立てる

- 8) みんなつながろ、トモダチ作戦  
9) 第42回「小さな親切」はがき  
キャンペーン

テーマ:「あのときはありがとう」

応募資格: 高校生以上

応募方法: はがき及び専用フォ  
ーム、メールにて600字以内

締め切り: 令和8年9月3日

10) 令和8年度予算

総会において決算報告と同時に  
報告予定

11) 奈良県本部総会

令和8年6月11日(木)

10:00~11:00

南都銀行研修センターにて

議題3. 役員選任(案)

別添表の通り(変更があれば事  
務局まで連絡)

以上の協議事項が提出され、審  
議の結果全員異議なく了承され、  
玉置成一副代表(生駒支部代表)  
閉会挨拶で終了した。

—宮本しげ子 記—

# 社会福祉法人 宝山寺福祉事業団

小さな親切  
協力事業所

〒630-0257 奈良県生駒市元町2-14-8

TEL 0743-74-1172 FAX 0743-74-1911

## 南地区集会の報告

今回で3回目となる大瀬中学校での南地区集会を令和8年3月3日に実施しました。従来通り、先生方が見守る中、大瀬中学校の生徒会の役員7名の皆様と「小さな親切」運動生駒支部の会員6名との意見交換会でしたが、今回は大人主導ではなく、生徒会長とともに会を進行しました。

まずは、恒例の「小さな親切に触れた時」をテーマに生徒達に自らの経験を語って頂きました。道でこけた時、迷子になった時など、困った時に友達に、あるいは見知らぬ人に助けてもらった経験、親が病気になった時に初めて親の有難さを感じたこと、病気がちだった自分を支えてきてくれた親や医療関係者への感謝の気持ちなど、それぞれに人の優しさ、温かさを感じた経験を語ってくれました。

その後の意見交換では、生徒会から、「10か条は誰でも実践できることだが、あまり知られていない」、「もっと皆に知ってもらうために、SNSの活用やQRコード入りのポスターの掲示など情報発信が必要」、「中学生が参加できる

機会をつくり、ボランティアを募集すれば、次代に引き継いでいくことにも繋がる」など、様々な提案がありました。

このような若い人達の声を踏まえて、何か一つでも次年度から取り組んでいければと考えています。

また、今回の集会が、挨拶が人と人との関係づくりの第一歩であること、それぞれが少しずつでも実践し、回りに伝搬しながら広げていくことの大切さを改めて認識する機会となりました。

—樋口清士 記—

## 温かいおせっかい

夕食後、13年ほど使用している食洗器がなぜか急に作動しなくなりました。長い間使用してきたので寿命だなと思ひ、新しい製品を買い替えようと購入した会社に電話をしたところ、「とりあえずどこが悪いのか調べてみましょう。お伺いします。」と返答がありました。

3日後に修理担当者が来て、食洗器を見るなり「これは直りますよ。買い替える必要はありません。食洗器のレバーの部分が効かなくなっているのでそのレバーの交換

だけで大丈夫です。買い替えると約25万はしますが修理だと13000円ほどです。きちんと使っていれば20年ほどは使えるものです。買い替えはもったいないですよ。」この言葉を聞いて私は安心した気持ちになりました。それは今の時代は大体の電化製品は10年ほどしかもたず、また修理の場合でも既に部品がないことが多いと聞かされていたので意外な言葉でした。

そして修理をしてもらっている間に、テレビを見ていたのですが、途中でBS放送に替えようとリモコンのボタンを押したのですが画面が切り替わりません。何回やっても、また電池を入れ替えてもうまく作動しなくて、一緒に居た娘とどうしてだろうと話をしていました。すると修理を終えた業者の方が「何か困っているような話が聞こえましたが、私でよければ見ましょうか」と言ってくれました。こちらもまたテレビの修理を頼まなければならないと困っていたので、渡りに船とばかりにお願いをしました。その業者の方はしばらく操作をしながら調べていて「ここには電波は来ているので一度コンセントを抜いてください。そして10秒後にもう一度コンセン

トを入れてください」と言われ、その通りにするとリモコンのスイッチは元に戻ってBS放送が映ったのです。その方は「電化製品にはよくあることで、このような場合は一度コンセントを抜くことです」と教えてくれました。

私は嬉しくてお礼を申し上げると、私の方こそお役に立てて良かったですと言われた。とにかく販売店として新品を売ることが優先している今の時代に、困っている状況を見て、少しでもお役に立ちたいという気持ちで親切な行為をしてくれた業者の方に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

余計な「おせっかい」は敬遠される時代ですが、このような温かい「おせっかい」は人を喜ばす大きな力になることを教えられました。よく考えてみると、親切な行為は他人を「思いやるおせっかい」で、このような「おせっかい」はどんどん増えてほしいと思います。

—玉置成一 記—

### ひいばあばの高野豆腐

「ママの高野豆腐の味は、悪くはないんだけど、さっぱり系なん

だよ。私、奈良のひいばあばの高野豆腐が食べたいな—」

遠く関東に離れ住むひ孫がある日の食卓でそう言ったそうです。

その話を孫から聞いた私は、とてもとても驚きました。ひ孫が6歳ぐらいのころ、私の炊いた高野豆腐の含め煮を「おいちいな—」と食べてくれたけれど、8歳になった今も、まだその味を覚えてくれていっているな。

うれしくて、涙がポロポロとこぼれました。

明治生まれのお姑さんに教わった味付けです。ザラメを何回もたっぷりと入れて、みりんとしょうゆで弱火でじっくりと炊いたものです。

ひな祭りの日に93歳になった私は、ハイカラなメニューはできないけれど、昔ながらのコトコトと炊く料理は今でも何とかできます。今度、ひ孫がこちらに来たときには、「高野豆腐の炊いたん」をたっぷりと食べてもらいたい。

毎日、娘夫婦に見守られてゆったりと過ごしています。子どもや孫、ひ孫のためにも、余生をしっかり生きねばと、つくづく思う今日このごろです。

—村上和子 記—

第59回 (2026年度)

### 会員定期総会のご案内

日時 2026年5月16日(土)

13:30~15:30

会場 図書館2階 第三研修室

総会議事終了後

記念講演

「認知症とのつきあい方」

講師 山上正仁先生

(山上内科医院長)

会員の皆様お揃いで多数ご参加くださいますようご案内いたします。

### 会員紹介

(敬称略)

◎〈団体会員〉日赤生駒市有功会

◎〈特別会員〉林 昌弘

◎辻町・辻中賀代グループ

〈維持会員〉森裏、田口利彦、西條隆子、檜木寿美子、大西トシ子、辻中賀代

◎今中豊子グループ

〈維持会員〉武元マサエ、宮平美智子、植田尚江、神野芳子、今中豊子

古切手ありがとう

(敬称略)

宮本新太郎 (奈良市)、白石澄子 (大阪市)